



放課後子ども教室

ハウカGO!

活動報告



11月17・18日の2日間、札幌からHOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS(HAS)の皆様にご講師としてお越しいただきました。今年で8回目となる車いすスポーツ体験です。

## Wheelchair Skills — 車いす操作体験 —

1日目は、パラリンピック金メダリスト<sup>かのうあきら</sup>狩野亮さんがオランダで学んでこられた、日常用の車いす体験から始まりました。

段差やスロープをどのようにして乗り越えるか、実際に体験しながらその技術を教わります。少しの段差でも乗り越えることが難しいこと、重心がかかりすぎると危ないことなど、自分で操作してみて初めてわかりました。

狩野さんは「障がいを持っている人が普段どうやって暮らしているのか」「技術を使って生活していること」を知ってほしいと話してくださいました。



## みんな大好き！車いすバスケットボール

2日目は、パラアスリートの皆様と、競技用車いすでバスケットボールを行いました。

はじめに、講師の方々になぜ障がいをもつことになったかをお話しくださいました。そして、「からだの状態が違う人同士で、面白さを保ったままスポーツをするとき、みんなと一緒に楽しめるようルールを工夫するのがパラスポーツの特徴」と教わりました。

「違いがある人と一緒に楽しくスポーツをするとき、どんな工夫があるだろう」「障がいがある人、またパラスポーツは、私たちと何が違うんだろう」ということを、車いすバスケットを通してみんなで考えました。

この経験をたくさんの人へ伝えてほしいとのHAS代表の齊藤さんの言葉に、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。



活動の様子はハウカGO!のSNSで随時ご報告しています。ぜひご覧ください。



豊浦町 放課後子ども教室

検索